

鈴鹿市の概況

本市は、昭和１７年１２月、２町１２カ村が合併し、新市として誕生しました。三重県の中北部に位置し、東は伊勢湾に面し、西は鈴鹿山脈で滋賀県に接するほか亀山市と接し、北は四日市市に、また、南は津市に接しています。新名神高速道路、東名阪自動車道、国道１号、国道２３号、国道３０６号等幹線道路を軸とし、これらに県道、市道が連結しており、名古屋から約５０ｋｍ、大阪から約１２０ｋｍ、京都から約９０ｋｍの距離にあり、中部圏はもとより近畿圏からも比較的近い距離にあります。

気候は、年平均気温１７度程度で比較的温暖ですが、冬は養老山地と伊吹山の間を抜けてくる強風（俗に「鈴鹿おろし」という。）のために寒く、市の北西部では比較的降雪量も多く、まれには海岸部まで積雪が見られることがあります。

市の概形は、東西２２．６ｋｍ、南北２１．９ｋｍの扇形に近い形で、面積１９４．４６ｋ㎡を有しています。鈴鹿川右岸から海岸にかけての海拔０ｍから、海拔９００ｍの鈴鹿山脈までの起伏があり、北部から西南部にかけては５０～８０ｍの丘陵地を形成しています。

このような恵まれた自然環境の中で、本市は自動車産業など数多くの企業を誘致し、伊勢湾岸地域有数の内陸工業都市として発展してきました。また、農業においても、恵まれた豊かな大地で、茶や花木をはじめ、水稻などの生産が活発に行われ、農業と工業がともに成長して現在に至っています。

１ 位 置	東経 １３６度３５分	北緯 ３４度５２分
２ 市 域	東西 ２２．６ｋｍ	南北 ２１．９ｋｍ
３ 面 積	１９４．４６ｋ㎡	
４ 人 口	１９３，７６３人（令和７年３月３１日現在）	
５ 世 帯 数	９０，０６６世帯（令和７年３月３１日現在）	
６ 市制施行年月日	昭和１７年１２月 １ 日	
７ 消防本部設置年月日	昭和２４年 ５ 月３０日	
８ 消防署設置年月日	昭和３４年 ９ 月３０日	